

神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成22年10月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.94



約250名の関係者が参加し盛大に行われた記念式典

9月30日、高千穂町武道館において、町制施行90周年記念式典が盛大に開催されました。

高千穂町は、1920年（大正9年）4月に町制を施行し、1956年（昭和31年）に岩戸村、田原村と合併、1969年（昭和44年）に上野村を編入合併し、この間、着々と生活基盤整備等を進めてきました。

高千穂町は、高千穂峡をはじめとする風光明媚な自然と、夜神楽に代表される伝統文化を擁する町であり、何より、ここに住む人々が地域条件の厳しさに負けず、たくましく、豊かに生活するすばらしいところです。

内倉町長は、10年後、20年後に高千穂に暮らす人々が地域の絆で結ばれ、ここに生まれてきてよかったと実感する町づくりに積極的に取り組んでいくとあいさつされました。



町政功労者表彰



高千穂中学校生徒による
素晴らしい吹奏楽の披露



上野小学校児童による
息の合ったエイサーの披露

『森林づくり県民ボランティアの集い in 日之影』開催



下草刈り作業の様子



八戸小みどりの少年団によるドウタンツツジの植栽



八戸小みどりの少年団による緑の募金活動

10月1日から11月30日までの期間は、「水と緑の森林づくり条例」で定める「森林づくり推進期間」です。

県では、緑豊かな郷土を後世に引き継いでいくため、この期間を中心に県民参加の森林づくりを推進しており、その取り組みの一環として10月24日、日之影町の「癒しの森運動公園」において、「森林づくり県民ボランティアの集いin日之影」を開催しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、みどりの少年団や森林ボランティア団体など、遠くは日南市から約150名が参加し、下草刈りやドウタンツツジの植栽などの森林づくり活動に汗を流しました。

また、会場では八戸小みどりの少年団による「緑の募金」活動や延岡フェニックスアートレジャータンゴ部隊による実演のほか、地元産スギを使った木工教室を行い、参加した子供達も目を輝かせ、一生懸命取り組んでいました。

森林は、多くの恵みを与えてくれる県民共有の財産です。今後とも、このような「森林」や「木」と触れ合う機会や県民参加の森林づくり活動への積極的な参加をお願いします。



木工教室の様子
うまくできたかな？

県総合計画 地域別県民会議の開催



会議の様子

県では、新たな総合計画について、20年後の本県のあるべき姿を見据えた長期ビジョンに基づき、長期戦略とそれを実現する分野別施策の骨子を現在策定中です。

この策定にあたっては、地域の方々から本県のあるべき姿、目指すべき方向性についてご意見を伺うため、昨年度から地域別の県民会議を開催し、ご協力をいただいているところです。

西臼杵地区では、昨年11月18日に第1回会議、今回10月19日に第2回会議が開かれました。

会議では、人づくり部会、くらしづくり部会、産業づくり部会に分かれて活発な意見交換がなされました。

いただいた貴重なご意見は、必ず次期総合計画に反映され、われわれの指針につながっていくものと思います。

高千穂小学校 稲刈り体験



稲刈りに取り組む子どもたち

10月12日、高千穂小学校の5年生の子どもたちが、稲刈りを体験しました。

この稲は、農業用水等の理解促進を目的とした「農業用水水源地域保全対策事業」の一環として、今年6月に高千穂町三田井の藤本國光さん所有の水田で田植えを行ったものです。



バインダーを使って稲刈り

子どもたちは、自分たちの手で植えた苗が立派な稲に成長したことを確認し、鎌を使って楽しそうに刈り取っていました。

また、手作業の後、バインダーを使用して刈り取りと結束を自動で行うことも体験したりしながら、農業に対する理解を一層深めていました。

大人歌舞伎



寿三番葉叟



絵本大功記二段
本能寺の場

10月10日、日之影町岩井川大人地区の歌舞伎の館にて、「大人歌舞伎」が上演されました。

大人歌舞伎は、天正年間に日之影地方を治めていた中崎城主甲斐宗摂が延岡藩主高橋元種に討たれたのを村人が悼んで始められたと伝えられています。

初めて鑑賞させていただきましたが、本格的な、熱のこもった演技、舞台セット、衣装と、和気藹々としたその場の温かい空気に、大変心地よいひとときを過ごすことができました。

200年以上にわたって代々受け継がれている農村歌舞伎、予想を大幅に上回る面白さでした。伝統文化を守り続ける地区の方々に脱帽です。



お囃子の方々



甲斐公民館長挨拶

深角団七まつり

10月10日、日之影町の深角地区地域交流センター（愛称：団七の館）にて、「第14回深角団七まつり」が開催されました。

団七踊りは、父を殺された姉妹が苦勞の末、仇討ちを果たすという物語を踊りにしたもので12段からなっています。

深角団七踊りは、おおよそ120年前に高千穂町栗毛の村人から、深角の甲斐幸作氏が教わって深角地区に教え伝えたものとのことです。

子ども団七踊りもかわいらしく、保存会のみなさんの熱心な団七踊りも、朗朗と唄われる音頭と太鼓に合わせて軽快に披露されました。

これからも、地区の宝として受け継いでいただきたいお祭りです。



子ども団七踊り



熱の入った踊りの披露

夕陽の里フェスティバルin五ヶ瀬



後藤会長の挨拶



参加者のみなさん

10月10日、五ヶ瀬町桑野内の夕陽の里イベント広場(五ヶ瀬ワイナリー)にて、「第15回夕陽の里フェスタin五ヶ瀬」が盛大に開催されました。

このお祭りは、企画から運営まで住民の手づくりで実施されるイベントで、じわじわとファンを増やし続けており、今年は約2500名が参加されたとのことです。

参加者は、素晴らしい阿蘇涅槃像の景観が一望できる芝生広場で、地元特産品に舌鼓を打ちながら、神楽、棒術、団七踊り、和太鼓演奏などを楽しんでいました。来年は3000名の参加を目指したいとのことです。



寺本リエ子さんの
チャリティーバザー



上組小児童による
子ども団七踊り

取材日記「西臼杵郡雇用拡大協議会」



左上から、佐藤清隆さん、田村英俊さん、飯干敬司さん、左下から、工藤瞳さん、下堂園ゆりさん、高藤文明さん

今回は、西臼杵郡雇用拡大協議会（地域雇用創造実現事業）についてご紹介します。

西臼杵郡雇用拡大協議会は、地域経済の活性化や雇用機会の創出を目指して3町、地域の経済団体、有識者で19年6月に組織されたもので、採択された事業ごとに事業担当が任命され、それぞれの目的にしたがって事業を進めています。

20年度に厚生労働省が創設した「地域雇用創造実現事業」の採択を受けて採用されたのは左写真の6名で、この精鋭6名（1名途中交替）で3ヶ年事業を展開してきました。

事業は、①加工品の研究開発・販路開拓、②着地型旅行の商品化、③空き店舗の活用を軸に展開されています。

①の成果としては、古代餅と小灯(ことぼし)の開発、商品化。

②の成果としては、3町の隠れた資源のデータベース化。ムラビトガイドの育成とネットワーク化。これらを生かしたモニターツアーの実施、旅行会社、他地区の観光協会、マスコミ等への積極的な広報、売込み。

③の成果としては、無我夢中、ねむの花、天岩戸日向屋の3店舗のオープン。また下町市場やモバイルカフェ、ムラビトマルシェの実施など。さまざまなアイデアで6名それぞれが着々と取組を進めています。

今年度は3ヶ年事業の最終年度にあたります。田村事業局長は、利益を度外視して、3町それぞれの資源を生かし、これを案内・発信する仕組を今後も残していくことが望ましいのだからと話してくださいました。



古代餅



小灯



事務所のある『高千穂の郷こ案内処』

明るい町づくり事業「地域応援活動」



受賞者は表彰状を手にみんなで記念撮影！



取付け作業

10月24日、町中心部の街燈設備に小旗を取り付けるイベントが行われました。

このイベントは、地域活性化、明るい町づくりを目指して、高千穂町商工会青年部が企画したものです。

高千穂小学校6年生から53点、一般から12点のデザインの応募があり、高千穂町長賞、高千穂町商工会長賞、高千穂街燈賞、そして支庁長賞が選ばれました。

応募作品はすべて小旗にかっこよく印刷され、高千穂神社からくしふる神社までの町中心部の通りを賑やかに彩っています。

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望など

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」



高千穂保健所長を先頭にパレードに参加しました。

10月11日、くしふる神社・秋の大祭の余興隊パレードに、高千穂保健所職員と薬物乱用防止指導員の計13名で参加し、薬物乱用防止啓発資材の配布を行いました。

お詫び文

高千穂郷通信9月号でお伝えしましたJA高千穂地区果樹振興会くり部会の記事の中で、「尾崎副部長」のお名前を「門村副会長」と誤って掲載しました。訂正し、深くお詫び申し上げます。申し訳ありません。

編集後記

10月はお祭りをたくさん見せていただきました。地域で大切に受け継がれている伝統文化は見る者を魅了し、自らもますます輝きを増していく感じです。

11月からは夜神楽も始まり、見るもの、撮るものがたくさん。とても楽しみです。(桃)